

(2) 授業の見直しと質的改善を図るための手立て

(1) 新学習指導要領に関わる理論研究-6 で述べたとおり、新学習指導要領解説には、授業改善を進める際の配慮事項として、次のような文言があります⁽¹⁾。

主体的・対話的で深い学びは、必ずしも 1 単位時間の授業の中で全てが実現されるものではない。単元など内容や時間のまとまりの中で、例えば、主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか、学びの深まりをつくり出すために、児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で授業改善を進めることが求められる。

(※下線、太字は本研究委員会による。)

そこで、本研究委員会では授業の質的改善に向け、単元における下線部のような場面について、授業を振り返る際の観点を以下のように 4 つ設定しました。4 つの観点は、おおむね単元の流れに沿うように、便宜上、それぞれ A・B・C・D と記号で示しています。

〈授業を振り返る際の観点 (A・B・C・D)〉

主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面

A (見通す)

児童は、学習のゴールまでの見通しをもっているか。
学習の目的や必要性を実感しているか。

D (振り返る)

児童は、学習を振り返って、自身の学びや変容を自覚しているか。

観点 A と観点 D は、児童自身が目的や必要性を実感し、見通しを立てて学習に取り組んだり (A)、学習を振り返る中で、自分自身の学びや変容を見取り、学びを自覚したり、説明したりする (D) 「主体的な学び」と関連しています。観点 D における振り返りが、次の学びの見通し (A) にもつながっていくと考えられます。

対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面

C（対話する）

友達や教職員、地域の人など、他者とのやり取りを通して
児童の考えが広がったり深まったりしているか。

観点Cは、児童同士の協働、教職員や地域の人との対話、作者・筆者の考え方を手掛かりに考える中で、自分の考えを広げたり深めたりする「対話的な学び」と関連しています。形式的に、話し合い活動等を取り入れるだけではなく、そこに考えの広がりや深まりが生まれるような工夫が必要だと考えます。

学びの深まりをつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面

B（自ら考える）

問いを、児童が自ら見いだしているか。
問いの解決に向けて、児童は自ら考えているか。

観点Bは、「言葉による見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決したり、自分の考えを形成して表したり、思考の過程をたどって考えを再構築したりする「深い学び」と関連しています。児童が考える際に必要となる、基礎的・基本的な知識及び技能については、教師がしっかりと教え、習得させる場面を適切に設定することが必要です。本研究においては、このことを前提に、新学習指導要領で求められている、能動的に学び続けることができる児童の育成に向けて、「児童が考える場面」に焦点化することとしました。

〈児童の姿を指標としたステップ（①・②・③）〉

授業における児童の姿は、教師の指導の結果とも言えます。そこで、児童の姿を指標として自身の授業の質的改善を図るために、観点A～Dそれぞれについて、児童の姿で3つの段階を示しました（次頁表1）。児童の姿であるステップが、①→②→③と上がっていくことで、育成を目指す資質・能力を身に付けさせることができると考えます。

なお、観点Cのステップについては、児童の発達の段階によっても目指す姿が異なると考えられます。そこで、新学習指導要領に示されている各学年の目標及び内容も踏まえて、各学年で目指すべきステップを次のように考えました。ただし、ここに示した学年はあくまでも目安であり、児童の実態に即して低学年や中学年でもステップ③を目指すことがあると考えます。

観点C（対話する）で目指す姿

低学年・・・ステップ① 自分の感想や意見をもって、相手に伝えている。

中学年・・・ステップ② 感想や意見を伝え合う中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気付いている。

高学年・・・ステップ③ 感想や意見を伝え合う中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気づき、自分の考えを確かなものにしたり、見直したりしている。

表 1 単元において授業を振り返る観点とステップ（児童の姿）

観点	ステップ①	ステップ②	ステップ③
A 見通す	本時のめあてに沿って、本時のゴールを見通している。	<u>単元の学習計画</u> に沿って、 <u>本時や単元のゴール</u> を見通している。	単元の学習計画に沿って、 <u>身に付ける力を意識</u> しながら、本時や単元のゴールを見通している。
B 自ら考える	教師の発問に対する答えを考えている。	<u>自ら問いを立て、何をどのようにしたら解決できるか</u> 考えている。	問いのよりよい解決に向けて、考えや方法を <u>修正</u> したり、 <u>応用</u> したりしている。
C 対話する	(低学年) 自分の感想や意見をもって、相手に伝えている。	(中学年) 感想や意見を伝え合う中で、 <u>共通点や相違点、互いのよさ</u> 等に気付いている。	(高学年) 感想や意見を伝え合う中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気づき、 <u>考えを確かなものにしたり、見直したり</u> している。
D 振り返る	できるようになったことや分かったことについて、振り返っている。	できるようになったことや分かったことについて、 <u>理由や根拠</u> を挙げながら、振り返っている。	できるようになったことや分かったことについて理由や根拠を挙げながら振り返り、 <u>次の学びに生かそうと</u> している。

※ステップ②の下線部は、ステップ①よりステップアップした内容を示しています。

※ステップ③の下線部は、ステップ②よりステップアップした内容を示しています。

学級の児童は、ステップ①～③のどれに当てはまるでしょうか。次頁以降、観点A～Dそれぞれについてチェックできる「授業改善ステップ表」を載せています。年度初めと各学期の終わりに1単元を取り上げ、自身の授業を振り返ってみましょう。

また、チェック欄の下には、ステップアップするための手立てを整理した「手立て一覧表」、手立ての具体を紹介した「手立ての具体例」も示しています。

先生方の授業改善にお役立てください。



ツールを用いた授業改善の手順


※年度初めと各学期の終わりを目安として御利用ください。

1 単元における授業改善の流れ	教師の意識（観点 A の例）	「授業改善ステップ表」と「手立て一覧表」の活用方法																														
児童の実態把握 ↓	<p>「授業改善ステップ表」で、学級の児童の姿を振り返ってみると… <u>観点 A は、今ステップ①かな。</u></p>	<p>1 「授業改善ステップ表」について、当てはまる児童の姿のチェック欄いずれかに<input checked="" type="checkbox"/>を付けます。チェックする際は、主観で学級の7割以上の児童が達成できているかを目安としてください。</p>																														
教師の課題把握（目指す児童の姿の設定） ↓	<p>ステップ②の下線部に示された姿を見ると、単元のゴールを見通せていなかったことが分かるよ。一体どうしたらいいのだろう…。</p>	<p>「授業改善ステップ表」観点 A の例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">ステップ ①</th> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">ステップ ②</th> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">ステップ ③</th> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？</td> <td>児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？</td> <td>児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">本時のめあてに沿って、本時のゴールを見通している。 今日は○○をするんだね。 児童のつよみや実</td> <td style="font-size: x-small;">単元の学習計画に沿って、本時や単元のゴールを見通している。 今日は○○をするんだね。</td> <td style="font-size: x-small;">単元の学習計画に沿って、身に付ける力を意識しながら、本時や単元のゴールを見通している。 単元のゴールに向かって、今日は○○をするんだね。みんなできるようにするぞ。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="font-size: x-small;">観を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。 次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。 手立て一覧表 リンク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">ステップ②へGO 「手立て一覧表」 e, g, h</td> <td style="font-size: x-small;">ステップ③へGO 「手立て一覧表」 h', f, j</td> <td style="font-size: x-small;">既にステップ③の も取り入れてみませんか？</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">e, h, f, j, i, j, i は、具体例を紹介しています。</td> <td></td> <td style="font-size: x-small;">観 A 既読済</td> </tr> </table>	ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③	児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？	児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？	児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？	本時のめあてに沿って、本時のゴールを見通している。 今日は○○をするんだね。 児童のつよみや実	単元の学習計画に沿って、本時や単元のゴールを見通している。 今日は○○をするんだね。	単元の学習計画に沿って、身に付ける力を意識しながら、本時や単元のゴールを見通している。 単元のゴールに向かって、今日は○○をするんだね。みんなできるようにするぞ。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。 次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。 手立て一覧表 リンク			ステップ②へGO 「手立て一覧表」 e, g, h	ステップ③へGO 「手立て一覧表」 h', f, j	既にステップ③の も取り入れてみませんか？	e, h, f, j, i, j, i は、具体例を紹介しています。		観 A 既読済
ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③																														
児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？	児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？	児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？ 学習への目的や必要性を実感していますか？																														
本時のめあてに沿って、本時のゴールを見通している。 今日は○○をするんだね。 児童のつよみや実	単元の学習計画に沿って、本時や単元のゴールを見通している。 今日は○○をするんだね。	単元の学習計画に沿って、身に付ける力を意識しながら、本時や単元のゴールを見通している。 単元のゴールに向かって、今日は○○をするんだね。みんなできるようにするぞ。																														
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																														
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																														
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																														
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																														
観を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。 次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。 手立て一覧表 リンク																																
ステップ②へGO 「手立て一覧表」 e, g, h	ステップ③へGO 「手立て一覧表」 h', f, j	既にステップ③の も取り入れてみませんか？																														
e, h, f, j, i, j, i は、具体例を紹介しています。		観 A 既読済																														
本単元で取り入れる手立ての選択 ↓	<p>ステップ②に向けたステップアップの手立ては、e、g、hね。「手立て一覧表」で確認すると、「児童と一緒に学習計画を立て…学習のゴールやプロセスのイメージをつかませる」というgの手立てを取り入れてみようかな。</p>	<p>2 チェック欄の下には、ステップアップに向けた手立てを示しています。リンク先の「手立て一覧表」「手立ての具体例」と対応させてご覧ください。</p>																														
授業実践 ↓	<p>この単元では、gの手立てを取り入れたことで、児童が単元のゴールまでのイメージを見通すことにつながった！でも、ゴールまでにどんな力を身に付けるのか、児童は意識していなかったな…。</p>	<p>3 示された手立ての中から、必要と思われるものを選び、適宜応用しながら授業に取り入れてください。 (次のステップに向けた手立てではなく、現段階のステップに当たる手立てが有効な場合も想定できます。)</p>																														
取り入れた手立ての有効性の検討 ↓	<p>よし。次の単元では、gに加えてモデルを提示するh'の手立ても取り入れて、ステップ③を目指すぞ！</p>	<p>4 1～3の手順を繰り返し、授業を見直し続ける中で、授業の質的改善が図られていきます。</p> <p>※観点 B～D も同様の手順を踏みます。</p>																														
次の単元に向けた手立ての検討 ↓	<p>授業改善のプロセスを記録したい方は、ステップアップシートも御利用ください。 ↑サイトマップへ（Word形式）</p>																															
《次の単元前》児童の実態把握																																

「授業改善ステップ表」 A

観点 A **児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？**
学習の目的や必要性を実感していますか？

児童の姿は、どのステップに当てはまりますか？年度初めと各学期の終わりに☑を付けましょう！

	ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③
	<p>本時のめあてに沿って、本時のゴールを見通している。</p> <p>今日は〇〇をするんだね。 児童のつぶやき例</p>	<p>単元の学習計画に沿って、本時や単元のゴールを見通している。</p> <p>単元のゴールに向かって、今日は〇〇をするんだね。</p>	<p>単元の学習計画に沿って、身に付ける力を意識しながら、本時や単元のゴールを見通している。</p> <p>単元のゴールに向かって、今日は〇〇をするんだね。 △△できるようになるぞ。</p>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>☑を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。</p> <p>次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。  手立て一覧表（観点A）</p>			
ステップアップのヒント	<p>ステップ②へGO 「手立て一覧表」 e、g、h</p>	<p>ステップ③へGO 「手立て一覧表」 f、h'、j</p>	<p>既にステップ③の方は、iも取り入れてみませんか？</p>
<p>g、h、f、h'、j、iは、具体例を紹介しています。  A 見通す</p>			

※ めあての目的について確認したい方は、「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1」へGO！
 クリック→『めあて』の提示「学習内容の『まとめ』」

「授業改善ステップ表」 B

観点

B

問いを、児童が自ら見いだしていますか？

問いの解決に向けて、児童は自ら考えていますか？

児童の姿は、どのステップに当てはまりますか？年度初めと各学期の終わりに☑を付けましょう！

	ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③
	<p>教師の発問に対する 答えを考えている。</p> <p>先生、何をしたらいい ですか？ 児童のつぶやき例</p>	<p>自ら問いを立て、何を どのようにしたら解決 できるか考えている。</p> <p>学習のゴールに近づくため に、〇〇を試みよう。</p>	<p>問いのよりよい解決に 向けて、考えや方法を 修正したり、応用したり している。</p> <p>これまでのやり方では、うまく いかないぞ。どうしたらいい だろう。</p>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>☑を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。</p> <p>次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。  手立て一覧表（観点B）</p>			
ステップ アップの ヒント	<p>ステップ②へGO 「手立て一覧表」 k、l、h'、m、n</p>	<p>ステップ③へGO 「手立て一覧表」 l、h'、o、o'</p>	
<p>k、l、h'、n、o、o' は、具体例を紹介しています。  B 自ら考える</p>			




※ 発問中心の授業になりがちの方は、「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」へGO！

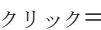
クリック⇒「教師の主な役割（コーディネート）」

「授業改善ステップ表」 C

観点 C **友達や教職員、地域の人など、他者とのやり取りを通して
児童の考えが広がったり、深まったりしていますか？**

児童の姿は、どのステップに当てはまりますか？年度初めと各学期の終わりに☑を付けましょう！



	ステップ ① (低学年)	ステップ ② (中学年)	ステップ ③ (高学年)
	<p>自分の感想や意見を もって、相手に伝えている。</p> <p> ぼくは、〇〇だと思っ たよ。 児童のつぶやき例</p>	<p>感想や意見を伝え合う 中で、共通点や相違 点、互いのよさ等に気 付いている。</p> <p>ぼくとは、〇〇が違うね。 でも、いい考えだね。</p>	<p>感想や意見を伝え合う 中で、共通点や相違 点、互いのよさ等に気 付き、考えを確かなもの にしたり、見直したりしてい る。</p> <p>なるほど。〇〇だと思ってい たけど、その理由からも、や っぱりそうに違いない。</p>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>☑を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。</p> <p>次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。  クリック 手立て一覧表 (観点C)</p>			
ステップ アップの ヒント	<p>ステップ②へGO 「手立て一覧表」 m'、p、p'、q</p>	<p>ステップ③へGO 「手立て一覧表」 h'、p、p'、o、o'、r</p>	
<p>m'、p'、q、h'、o、o'、rは、具体例を 紹介しています。</p> <p> クリック C 対話する</p>			

※ 対話による考えの広がり、深まりについて詳しく知りたい方は、「授業づくりのステップ 1・2・3
Vol.1」へGO！  クリック⇒『書く活動』、『話し合う活動』の設定

「授業改善ステップ表」D

観点 D **児童は、学習を振り返って、自身の学びや変容を自覚していますか？**

児童の姿は、どのステップに当てはまりますか？年度初めと各学期の終わりに☑を付けましょう！

	ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③
	<p>できるようになったことや分かったことについて、振り返っている。</p> <p>〇〇が、分かりました。またしたいです。 児童のつぶやき例</p>	<p>できるようになったことや分かったことについて、理由や根拠を挙げながら、振り返っている。</p> <p>〇〇を△△したら、□□ができました。</p>	<p>できるようになったことや分かったことについて理由や根拠を挙げながら振り返り、次の学びに生かそうとしている。</p> <p>この学習は、〇〇に役立ちました。次は、△△のときにも使ってみたいです。</p>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
月	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<p>☑を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。</p> <p>次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。  手立て一覧表（観点D）</p>			
ステップアップのヒント	<p>ステップ②へGO 「手立て一覧表」 s、j'、t</p>	<p>ステップ③へGO 「手立て一覧表」 u、v</p>	
<p>s、j'、v は、具体例を紹介しています。</p>			<p> D 振り返る</p>

※ 学習の振り返りについて詳しく知りたい方は、「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1」へGO！
クリック⇒ **「授業の『振り返り』の設定」**

(1) 新学習指導要領に関わる理論研究-7,8 に挙げた表 3 (「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業改善の手立て) の内容を「授業改善ステップ表」の観点 A~D に対応させて検討し直し、下のよう
に「手立て一覧表」を作成しました。

手立て一覧表				
	A (見通す)	B (自ら考える)	C (対話する)	D (振り返る)
単元前	【年間を通して講じる手立て】 a 語彙を豊かにするための取組を日常的かつ継続的に取り入れることで、考えの深まりを促す。 ・優れた表現や言葉を掲示物として蓄積、教科書巻末収録の語句を用いた説明、日々の 3 行日記等 b 学校図書館などを利用することで、作者や筆者の多様な考えに触れさせ、考えの広がりや深まりを促す。 ・図鑑、科学的な読み物、事典、物語、雑誌、同一作者によるシリーズ作品、異なる書き手による同一テーマの新聞記事等			
	【単元に応じて講じる手立て】 c 当該単元に関する領域のレディネスや、同系統の学習履歴を把握することで、指導上の留意点を明らかにする。 ・アンケート調査、事前小テスト d 当該単元に関する基礎的知識や語彙、関連する話題について事前に児童へさりげなく提供することで、レディネスを調整する。			
単元中毎時	☆ 本時で身に付ける力やその方法についてめあてを立てることで、本時の学習へ見通しをもてるようにする。 ※「☆」「★」(めあて・振り返り)は、どの単元においても、毎時取り入れていただきたい手立てです。	・何を学ぶのか ・どのように学ぶのか ・何ができるようになるのか ・前の学習と関連付けられるか	・分かったこと ・できるようになったこと ・参考になった友達の考え ・次の学習で取り組みたいこと	★ 本時の終わりに視点を与えた上で振り返りを記述させることで、次時の学習へ見通しをもてるようにする。
	e 児童の身近な話題や興味を踏まえて言語活動を設定することで、意欲を喚起する。 f 学習課題で、何をどのようにすれば、どのような力が身に付くのかを児童と共通理解しておくことで、学習への目的意識や必要性を実感できるようにする。	k 児童によって解釈が分かれる発問をすることで、根拠や理由を考えることができるようにする。 l 学習する内容や相手等について、児童が自ら決めたり選んだりする場を設けることで、積極性につなげる。 ・学級で何について話し合うか	「・」「○」で示している内容は、あくまでも手立ての一例です。 記号に___が付いている手立ては、その具体例を提案しています。トップページ「手立ての具体例」からご覧ください。	

拡大できます (A3版)

クリック



手立て一覧表

児童の実態や単元の特性に応じて、取り入れやすそうな手立てを選び、適宜応用しながら授業改善にお役立てください。

また、より簡便に授業改善に取り組みたい先生方に向けて、「授業改善ステップ表 (簡易版)」を作成しています。次頁から手順、記入例と併せて紹介しています。



時間がないから、なるべく簡便な手順で授業改善に取り組みたいな…。

「授業改善ステップ表(簡易版)」の使い方

こんな先生におすすめします！

いつでも手元で見返したい！授業改善のプロセスをコンパクトに整理してみたい。



時間がないから、なるべく簡便な手順で授業改善に取り組みたいな…。

授業改善の観点A～Dの中で、自分が力を入れるべきなのはどれかしら。

① 単元について、大体の構想を練る。

単元名、身に付ける力(指導事項)、第一次～第三次で行う大まかな学習活動について記入します。

② 児童の姿を基に、自身の課題を把握する。

「授業改善ステップ表(簡易版)」の観点A～Dについて、3つのステップのうち、学級の7割以上の児童が当てはまるものに、それぞれチェック(☑)を付けます。

③ ステップアップのための手立てを選ぶ。

☑を付けた欄の下から、取り入れる手立てを学級の児童や単元の特質に応じて選び、丸印(○)を付けます。「手立て一覧表」と対応させてご利用ください。

④ 必要に応じて、手立ての具体を書き込む。

「手立て一覧表」は大まかな文言で示しています。単元の中で、実際にどのような手立てを取るのか具体的に書き込みます。

※参考 「手立ての具体例」

⑤ 授業実践を行い、振り返る。

単元後、当該単元における児童の姿はどのステップに当てはまるかを振り返り、記入します。

↕ 対応させてご利用ください。

手立て一覧表			
A (見通す)	B (自ら考える)	C (対話する)	D (振り返る)
【見通す】 【見通す】 【見通す】	【自ら考える】 【自ら考える】 【自ら考える】	【対話する】 【対話する】 【対話する】	【振り返る】 【振り返る】 【振り返る】



「授業改善ステップ表(簡易版)」と「手立て一覧表」を用いた授業実践を繰り返すことで、授業のステップアップを図りましょう。

「授業改善ステップ表（簡易版）」

(11 月) 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう
 単元名 「未来がよりよくあるために」(光村図書6年)

記入例

- 身に付ける力
- ・ 事実と意見を区別して説得力のある意見文を書くこと。
 - ・ 意見を比べながら聞き、考えを深めること。

- 第一次:モデルを基にゴールを見通し、学習計画を立てる。
 第二次:本等で情報を収集し、意見交流で考えを深める。
 説得力のある意見文の構成を考え、意見文を書く。
 第三次:意見文を読み合い、よさを伝え合う。学習を振り返る。

A 見通す	ステップ ① めあてに沿って、本時のゴールを見通している。 <input type="checkbox"/> e g h	ステップ ② 学習計画に沿って、本時や単元のゴールを見通している。 <input checked="" type="checkbox"/> f h' j	ステップ ③ 身に付けるべき力を意識し、本時や単元のゴールを見通している。 <input type="checkbox"/> i	手立ての具体 ・ 児童の実態に即したモデルを作成する。 ・ 到達基準でゴールを示す。 →単元での児童の姿(③) クリック 手立て一覧表(A)
	ステップ ① 教師の発問に対する答えを考えている。 <input checked="" type="checkbox"/> k l h' m n	ステップ ② 自ら問いを立て、何をどのようにしたら解決できるか考えている。 <input type="checkbox"/> l h' o o'	ステップ ③ 問いのよりよい解決に向けて、考えや方法を修正したり、応用したりしている。 <input type="checkbox"/> 本単元で取り入れる手立て(記号)に○印	手立ての具体 ・ ウェビングで、テーマに関連する考えを広げさせる。 →単元での児童の姿(⑦) クリック 手立て一覧表(B)
	ステップ ① 自分の感想や意見をもって、相手に伝えている。 <input type="checkbox"/> m' p p' q	ステップ ② 感想や意見を伝え合う中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気付いている。 <input checked="" type="checkbox"/> h' p p' o o' r	ステップ ③ 感想や意見を伝え合う中で、考えを確かなものにしたり、見直したりしている。 <input type="checkbox"/> 本単元で取り入れる手立て(記号)に○印	手立ての具体 ・ 話し合う際の観点を具体的に示し、考えを深められるようにする。 →単元での児童の姿(②) クリック 手立て一覧表(C)
	ステップ ① できるようになったことや分かったことについて、振り返っている。 <input checked="" type="checkbox"/> s j' t	ステップ ② できるようになったこと等について、理由や根拠を挙げながら、振り返っている。 <input type="checkbox"/> u v	ステップ ③ 理由や根拠を挙げながら振り返り、次の学びに生かそうとしている。 <input type="checkbox"/> 本単元で取り入れる手立て(記号)に○印	手立ての具体 ・ 到達基準を基に振り返らせ、学びを客観的に把握できるようにする。 →単元での児童の姿(②) クリック 手立て一覧表(D)

「授業改善ステップ表（簡易版）」

(月)
 単元名

○身に付ける力
 .

第一次:
 第二次:
 第三次:

A 見通す

ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③	手立ての具体
めあてに沿って、本時のゴールを見通している。 <input type="checkbox"/> e g h	学習計画に沿って、本時や単元のゴールを見通している。 <input type="checkbox"/> f h' j	身に付けるべき力を意識し、本時や単元のゴールを見通している。 <input type="checkbox"/> i	手立ての具体 →単元での児童の姿 () クリック 手立て一覧表(A)

本単元で取り入れる手立て(記号)に○印

B 自ら考える

ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③	手立ての具体
教師の発問に対する答えを考えている。 <input type="checkbox"/> k l h' m n	自ら問いを立て、何をどのようにしたら解決できるか考えている。 <input type="checkbox"/> l h' o o'	問いのよりよい解決に向けて、考えや方法を修正したり、応用したりしている。 <input type="checkbox"/> 本単元で取り入れる手立て(記号)に○印	手立ての具体 →単元での児童の姿 () クリック 手立て一覧表(B)

C 対話する

ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③	手立ての具体
自分の感想や意見をもって、相手に伝えている。 <input type="checkbox"/> m' p p' q	感想や意見を伝え合う中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気付いている。 <input type="checkbox"/> h' p p' o o' r	感想や意見を伝え合う中で、考えを確かなものにしたり、見直したりしている。 <input type="checkbox"/> 本単元で取り入れる手立て(記号)に○印	手立ての具体 →単元での児童の姿 () クリック 手立て一覧表(C)

D 振り返る

ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③	手立ての具体
できるようになったことや分かったことについて、振り返っている。 <input type="checkbox"/> s j' t	できるようになったこと等について、理由や根拠を挙げながら、振り返っている。 <input type="checkbox"/> u v	理由や根拠を挙げながら振り返り、次の学びに生かそうとしている。 <input type="checkbox"/> 本単元で取り入れる手立て(記号)に○印	手立ての具体 →単元での児童の姿 () クリック 手立て一覧表(D)

研究主任の先生方へ

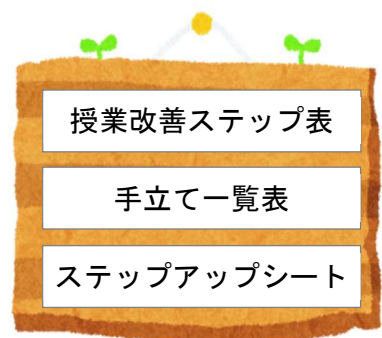
校内研究で、授業改善のツールを活用してみませんか？

授業改善のツール「授業改善ステップ表」「手立て一覧表」「授業改善ステップ表（簡易版）」「ステップアップシート」は、国語科の校内研究推進にも活用することができます。校内研究での活用例について、御紹介します。



① 児童の実態を把握し、授業の大まかな流れを決める。

授業の見直しと質的改善を図るための手立て-4の手順に従って、児童の実態把握、目指す児童の姿の設定、本単元で取り入れる手立ての選択を行います。「授業改善ステップ表」に児童の実態をチェック（☑）し、「ステップアップシート」に単元名、身に付ける力（指導事項）、第一〜三次で行う大まかな学習活動を記入します。



② 取り入れる手立てを選択し、学習指導案を作成する。

「手立て一覧表」から、ステップアップするために取り入れる手立てを選出した上で、学習指導案を作成します。

③ 授業実践を行い、振り返る。

授業研究会で、取り入れた手立ての成果と課題について検討します。課題の改善策となる手立てを「手立て一覧表」から検討し、「ステップアップシート」に記入します。

④ 年度を通して、授業の質的改善がどのように図られたかを検討する。

「授業改善ステップ表」と「ステップアップシート」を用いた授業実践の時期は目安として年度初めと各学期の終わりを想定していますが、研究授業等の日程に応じて、適宜時期を変更してください。年度末に、2つのツールを時系列で見返し、児童の実態がステップアップしているかを検討します。

観点 A

児童は、学習のゴールまでの見通しをもっていますか？
学習への目的や必要性を実感していますか？

児童の姿は、どのステップに当てはまりますか？年度初めと各学期の終わりに☑を付けましょう！

ステップ ①	ステップ ②	ステップ ③
本時のめあてに沿って、本時のゴールを見通している。	単元の学習計画に沿って、本時や単元のゴールを見通している。	単元の学習計画に沿って、身に付ける力を意識しながら、本時や単元のゴールを見通している。
今日は○○をするんだね。	単元のゴールに向かって、今日は○○をするんだね。	単元のゴールに向かって、今日は○○をするんだね。△△できるようにする。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

☑を付けた欄の下に、ステップアップのヒントとなる手立てを挙げています。

次の単元で取り入れる手立てを選びましょう。

ステップアップポイント	ステップ②へGO	ステップ③へGO	既に②は、③は、④は、見通す
ステップアップポイント	「手立て一覧表」 e, g, h	「手立て一覧表」 h, f, j	既に②は、③は、④は、見通す

g, h, h', f, j, iは、具体例を紹介しています。

授業改善ステップ表（観点 A）

ステップアップシート () 月の実践

①

②

③

単元名	単元で取り入れる手立ての選択	取り入れた手立ての有効性の検討 (○：成果、●：課題)	次の単元に向けた手立ての検討 (●)の改善策となる手立て	
			手立て①	手立て②
A				
B				
C				
D				

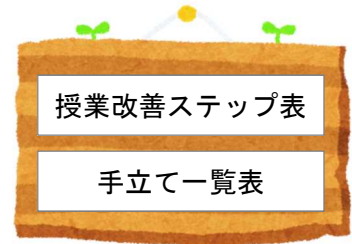
ステップアップシート

研究主任の先生方へ **ほかにも、こんな活用方法があります！**



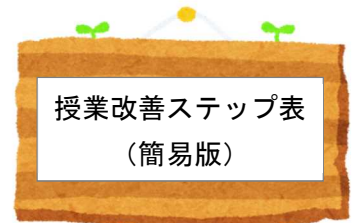
授業研究会で、課題点に対する解決策がなかなか出てこない・・・。

- ①研究会の中で出された課題点が、それぞれ「授業改善ステップ表」観点A～Dのどれに当てはまるか、分類する。
- ②「授業改善ステップ表」観点A～Dごとに、「ステップアップのためのヒント」に挙がっている記号を確かめる。
- ③「手立て一覧表」から、課題点の改善策となる手立てを検討する。



次年度の研究主題は、何にしよう・・・。

- ①「授業改善ステップ表（簡易版）」で、児童の実態がどのステップに当てはまるか、全職員にチェックしてもらう。
 - ・学級担任 → 学級の児童について
 - ・級外 → 関わりのある学級の児童について
- ②観点A～Dごとに集計し、全校児童の大まかな実態を把握する。
- ③観点A～Dのうち、特にステップアップを図りたい観点に関する内容で、研究主題を設定する。



《引用文献》

- (1) 文部科学省 『小学校学習指導要領解説国語編』 平成 29 年 7 月 p. 153